

令和元年度第1回恵那市総合計画審議会 会議録

日時：令和元年6月7日（金）

午後3時から

場所：恵那文化センター 多目的研修室

- 1 開会
 - 2 委員の委嘱
 - 3 市長あいさつ
 - 4 会長及び副会長の選出
 - 5 会長及び副会長あいさつ
 - 6 諮問（総合計画及び総合戦略の策定）
 - 7 統計から見た恵那市の現状について
 - 8 議事
 - （1）総合計画審議会の概要について
 - （2）総合計画及び総合戦略の概要について
 - （3）総合計画後期基本計画及び次期総合戦略の策定方針について
 - （4）会議の公開及び公表
 - 9 その他
 - 10 閉会
-

1 開会

■事務局（進行） 皆さん、こんにちは。御予定の方は大体そろったので資料確認をする。配布資料一覧を見てほしい。10点ある。不足があれば申し出てほしい。会議次第、恵那市総合計画審議会名簿、資料NO.1から8。

定刻より少し前だが予定の委員がそろっているので開会する。私は司会の企画課長の柘植です。よろしくお願ひします。

本日の審議会は、委員19名のうち16名出席なので恵那市総合計画審議会規則第4条の規定により会議が成立している。

資料No.3、12ページに、恵那市附属機関等の会議の公開に関する要綱がある。これに基づき、審議会は原則公開とし、会議録は公表する。通常は審議会の長が会議に諮って公開・非公開を決定するが、審議会の長が選任されていない場合は市長が会議の公開・非公開を決定すると規定している。第3条に公開の基準を定めているが、今回の審議会は個人情報取り扱いなどがなく運営に支障が生じないと判断しているので公開する。

また、本日の審議会は午後4時30分終了予定だが、引き続き部会を開催する。

次第に沿って進める。委員をお引き受けいただきありがとうございます。5年に1度、総合計画を策定する際に開催する審議会だが、本来なら委員の皆様一人一人に委嘱状を渡すが、時間の関係ですでに机上に配布しているので確認してほしい。氏名等に間違いはないか。

2 委員の委嘱

■事務局（進行） では、審議会名簿を見てほしい。名簿に従い委員を紹介する。名前を呼ぶので自席で起立してほしい。

[事務局から委員を紹介]

■事務局（進行） 堀委員は少し遅れる。足立委員、丸山委員は所用のため欠席の連絡を受けている。19名に就任いただいている。

市長からあいさつをする。

3 市長あいさつ

■市長 本日はありがとうございます。19名に委嘱状を交付した。2年にわたる策定委員会で、重要な仕事なのでよろしくお願ひします。

令和初の総合計画策定の作業だ。恵那市は今年合併15年、子どもなら中学校を卒業す

る。昔で言えば大人への仲間入りだ。ある程度成熟してまとまりが出てきたと感じる反面、世の中の流れがあまりにも早くついていけなかったり、まだやらないといけないことがたくさんあると感じる。

総合計画は第2次に入っており、総合計画は10年単位で考えるものなので、15年なのでマイナーチェンジをする。第2次総合計画という10年スパンでの計画はそのままあるが、社会情勢やニーズの変化を踏まえてマイナーチェンジをする。後期に向けて修正する。必要などころは伸ばし、必要ないところは削る。車ならモデルチェンジとは言ったが、実際には設計図、羅針盤、未来の予想図という計画になると思う。これを基に恵那市15年から20年にわたる未来を描く。自由にいろいろな意見を交わしていただきたい。リニア時代に向けた恵那市をどんなふうにしたらいいか活発な意見交換をしてほしい。

4 会長及び副会長の選出

■事務局（進行） 会長、副会長の選出。資料3、4ページ。恵那市総合計画審議会規則第3条の規定により、会長及び副会長は委員の互選による。会長の選任をお願いしたい。意見はあるか。

■委員 事務局案はあるか。

■事務局（進行） 事務局から推薦してもいいか。

[「異議なし」の声あり]

■事務局（進行） 会長に中部大学の服部敦委員を推薦する。

[拍手する者あり]

■事務局（進行） 皆様の承認をいただいたので、服部様、会長席に移ってください。

副会長の選出をする。意見はあるか。

■委員 事務局一任。

■事務局（進行） 事務局一任という声があったので、推薦してもいいか。

[「異議なし」の声あり]

■事務局（進行） 副会長に地域自治区選出の丸山文憲委員を推薦する。

[拍手する者あり]

■事務局（進行） 承認いただいたので、丸山様、副会長席に移動してください。

会長、副会長からあいさつをいただく。

5 会長及び副会長あいさつ

■会長 私、普段は中部大学で教鞭をとっている。都市計画、まちづくりを専門としてい

る。恵那市との縁は、中部大学のキャンパスが恵那市にあるということで、恵那市唯一の大学であり、ぜひ大学としても市政に協力したく、その縁もありこのような席に呼んでいただき、審議会の重責を果たしていくことになった。よろしくお願いします。

総合計画は市の大切な方向性を決める計画なので、今後の 5 年間の大きな枠組みを、遠い将来を目指して作っていく。皆様から闊達かつ率直な意見をいただき、よい計画になるように進めたい。議事がうまく進むように、微力ながら運営に努める。皆様も協力いただきたい。

■副会長 出身地は東野。私たちの自治区では 13 地区の会長会が集まって運営しているので、この会議で出たことをその会でも協議をして提案できればと思っている。また、会長の補佐をして頑張っていきたい。

6 諮問（総合計画及び総合戦略の策定）

■事務局（進行） 市長から総合計画及び総合戦略の策定について諮問する。諮問書は資料 No. 1。服部会長は自席で御起立願います。

[市長から諮問]

■事務局（進行） 市長は公務のためここで退席する。

7 統計から見た恵那市の現状について

■事務局（進行） 統計から見た恵那市の現状について、人口データを中心に説明する。

[事務局から資料に基づき説明]

■事務局（進行） 今後は部会ごとに議論を深めていただくので、その参考になればと思う。多くの分野の詳細の情報を今後も提示したい。

議事に入る。進行を会長に願います。

8 議事

■会長 4 つの議事を審議する。3 つが終わったら、皆様から 1 人 1 分ずつぐらい自由にコメントいただきたい。自己紹介がてら、この審議会に臨むにあたり、恵那市政について

関心のあること、またそれぞれの職責の中でこの審議会で議論したいことを話してもらおう。
まず(1)について事務局から説明いただく。

(1) 総合計画審議会の概要について

[事務局から資料に基づき説明]

- 会長 審議会の位置付けについて説明があった。質問はあるか。
- 委員 策定部会にどのような部会があるか。
- 事務局 審議会が終わったら部会を予定している。
- 会長 どういう部会があるか。
- 事務局 4つの部会を作る。総合計画の体系が、安心、快適、活力となっている。その3つに、さらに人口減少対策と地方創生の分野を総合計画の中から選んで再編するという総合戦略という計画を作る。その人口減少対策部会とで、4つに部会になる。

(2) 総合計画及び総合戦略の概要について

[事務局から資料に基づき説明]

- 会長 今回の審議会の議論の対象となる2つの計画があるという話だった。何か質問はあるか。おそらく3つ目の議事でもう少しその関係を説明することになる。3つ目の議事の説明の後併せて質問を受ける。

(3) 総合計画後期基本計画及び次期総合戦略の策定方針について

[事務局から資料に基づき説明]

- 会長 質問はあるか。
- 岩井委員 プランニングということだが、28年度からやってアクションプランというのは作っていたのか。いきなり実施計画になっている。それが進んでないんじゃないかと懸念する。アクションプランの中で、市民の中にも団体やNPOがあり、NPOや商工会議所やJCなど、もろもろの団体と連携があったかどうか。市民協働中ではそういうところが必要だと思うし、28年度のところも前期の部分はそういう部分があったのか聞きたい。
- 会長 事務局。

■事務局 アクションプランは、総合計画の中の実施計画がアクションプランに当たる。その事業についてはすでに実施しているものがほとんどだ。ただ足りない部分があるかもしれない。今回の総合計画は3年間が終わった段階で次の計画に入っている。検証が不十分などところがあるので、御意見は今後の参考にする。

■岩井委員 要は、やった内容だ。タイトル（平成32年度の目標指標）は130とかになっているかもしれないが、市民の安心安全の部分に対して功をなしているかどうか。たとえば耐震診断、耐震補強が何件できましたと。でも実際はもっとある。そこをもっと踏み込んでいかないと人の命は助からない。

■会長 この後部会で、今日の議論ではなかなか中味に踏み込む時間がないということなので、この後部会を重ね、これまでの5年間の実績、課題を、資料を交えながら事務局から説明があり、部会の段階で専門分野に分かれて詳しく議論いただき、次回の審議会で全体的に話をする形になると思う。今の疑問の点は、部会の中で議論を深めていただくというところでいかがか。

そのほか御質問はあるか。また、部会の中でも質問してほしい。

出席いただいている委員に1分で、名前、立場、今関心を持っている事項、議論したいことについてお話しいただきたい。

今もう発言いただいたが、岩井委員から。

■岩井委員 立場は恵那市防災研究会。ライフワークとしては、防犯、交通安全をやっている。安心安全のセクションでこの市民協働ということでやっている。

■遠藤委員 民生委員の立場で出席する。遠藤です。関心があるのは、少子化の問題。450人、果たしてその目標が大丈夫かというところが一番の関心で、まず無理じゃないかと思う。

■勝委員 農業振興協議会の代表として出ている。たくさんの農地が恵那市にある。少子高齢化の中でそれぞれの地域が農業者が農地を守りしているが、高齢化でとても手が入らないところが非常に多くなっている。耕作放棄地の解消ということでいろいろお話をいただくが、高齢者が少しはそういったところに向ければいいけどとても手を入れる状況ではない。それが地域の人口減少にますます拍車をかけていると思う。

恵那市も特産を育てる努力をしているが、もう少し企業的な農業も目指さないと、小さな農業者を育成しようと思ってもとても生活の足しになる状況ではないと思う。ある程度小さな農業で地域の農地を守っていくという施策と、もう少し大規模で大きな農業者を育て、そこに雇用の場所が生めるような農業形態も作っていけるといいと思う。

■鎌田委員 鎌田基予子です。教育委員を代表して来た。教育委員は6年目だ。教育委員を代表してと言ったが、審議会委員は男性が多いというところで、行ってくれと言われて来た。13番に丸山由香さんという恵那市PTA連合会代表の委員がいるが本日欠席で、私

は女性 1 人で、しかも丸山さんと同じ、一番下の娘が現役の高校生で、母親という立場でも参画したい。

■鬼頭委員 恵那市こども園保育園の保護者会連合会から来た。本会議に際しては、子育て、私個人は中学生と年長、年少の 3 人の子どもがいる。子育てを現役でしている立場、また少子化という観点、安心して共働きできるようなまちづくりなどでお話をいただければと考えている。また、昨今保育園や小学校の子が巻き込まれる痛ましい事故のニュースが相次いでいる。恵那市としてそういうことを防げるかもお話しできればと思う。

■小林委員 恵那市社会福祉協議会で常務理事兼事務局長をしている。社会福祉協議会の仕事は、行政からの受託と指定管理が主体だ。社会福祉協議会も同じように総合計画に当たる発展強化計画、地域福祉活動計画を 5 年スパンで策定し今 2 年目になっている。市の施策と擦り合せしながら進めていきたい。私は今年誕生日が来たら 65 歳で高齢者の仲間入りで高齢人口に入ってしまう。みずからの問題として捉えていきたい。

■塚田委員 恵那市地域自治区会長会議から来ている。上矢作なのでいろいろと困ったことばかりで、会議をやってもあれが困ったこれが困ったということが多い。人口減少も一番頭が痛い。上矢作は特にそういうこともあるし、会議をやっていると、イノシシやシカの問題も出てくるし、今年は耕作放棄地をどうしたらいいかとかの問題が出てきた。上矢作だけで頭がいっぱいなところがあるが、一つ光が見えるかどうかだが道の駅が改修中で 10 月に動く。今関係者が寿司を作ってみようかとか。根元でやっているという感じだ。今この話を聞いているとあまりにも問題が大きいので言葉だけでも迷ってしまう。そういうことがどう反映させられるのかちょっと心配なところがあるが、一生懸命やりたい。

■会長 ぜひ地域からの意見を積極的に出してほしい。構えずにやってほしい。

■西尾委員 公益財団法人の文化振興会を代表して出ている。文化振興会は、市の委託や補助を受けてそれぞれの活動や地域の伝統文化的な活動等を支援している。会員自体も高齢化してきて、それぞれの部会の中でいろいろな活動をやっているが、活動が高齢化によって困難になってきている。それぞれの地域での伝統芸能、歌舞伎、芝居、いろいろとそれぞれの地域にあるが、そういったものも人数が少なくなってきたり高齢化してきていて、世代の受け渡しがうまくいかなくなっているという不安がある。そういったことも何とかうまくつないでいけるといいと思っている。どの部会になるか分からないが、現状やこれからの対策等がひらけてきて自分たちの活動がしていければと思っている。

■村上委員 私だけが公募だ。私は恵那の人間ではなく名古屋生まれで 2012 年に三郷町に移住して来た。元々恵那に来たのは、縁もゆかりもなかったのだが、東海豪雨を経験し、その頃僕は庄内川の川の環境の運動をやっており、上流の山がどうなっているのか調べないとだめだと思った。で、土岐川庄内川の源流は夕立山で恵那で、2005 年から中部大学の応用生物学部の研究室と一緒に森の健康診断ということで 2005 年から恵那の人工林の調

査を毎年市民参加でやり、それがきっかけで恵那に毎年来るようになり、冗談で「山暮らしもいいですよ」と言ったら「恵那に住んでみない？」と言われて、2012年に三郷町に間伐材で家を建てて住んだ。恵那はそんなに大きくなくそんなに小さくなくそんなに山でもなく都会でもなく、すごく気に入っている。持続可能という言葉があるが、恵那なら持続可能なまちがつかれると確信している。そのために、よそから見た意見を恵那市のこれからに入れてもらえたらいいと思い応募した。勝手なことばかり言うと思うがお願いします。

■山内委員 こんな盛大な会議に出るのは久しぶりだ。昔現役の頃にやったぐらいでほとんどこういうことにも出てないし、行政にかかわる仕事ではなかったので分からないことばかりだと思う。自治区の代表として参加している。一番考えることで大変なことは、今日集まっているのは結構若いけど、このメンバーでいろいろ考えても実体を動かすのは誰か。後期高齢者ばかりで自治会も困っている。自治会を運営する人すらいないという状況で、地域自治区、自治力を高めるとかみんなでまちをつくるということがあるが果たしてできるのかとも思う。特に、やっぱり根底で動く人が後期高齢者、年配者が多く、それも数が多い。自治会の半分は後期高齢者というところもある。そういうことも考えてやっていかないと、前に進めるということで大変なことが出ないかと、自治会の代表として言わせてもらう。

■山口委員 家は飯地だ。私は来年で80歳になる。後期高齢者ではなく末期高齢者だ。体育連盟から行けと言われて来た。担当がスポーツということだが、私にスポーツというのが合わないかもしれないが、おかげで健康で、ゴルフも月に3、4回しかやっていない。恵那市は健幸都市宣言ということで、健康を保っていくためには、一つにはスポーツが大事だろうということで、ここに入っているのだと思う。元来せいしょなたちで、地域では地歌舞伎もやり資料館も担当しており小学校の運営委員、総合学習もやり農業関係もやりお寺もやり神社の役員もやっている。オールマイティーだ。健康というのが元にあると自負している。健康を維持するためのスポーツということから提案をしていきたい。

■山本委員 恵那商工会議所を代表してきた。商工会議所というのは新たに仕事を始める、あるいは現在いろいろな事業をしている人たちの支援をするのが主な目的だ。現在1200ほどの会員がいる。ピーク時と比べると会員数が92%。全国では70%ほどなので、恵那の産業構造が幅広いのがこういった会員数の減少を食い止めていると考えている。事務所は1カ所で、1200人の会員に対し職員が14名。自主財源、会費と事業収入でほぼ70%以上。30%が国、県、市からの補助金。商工会議所の場合は直接人件費に対する補助金がないので、事業そのものに対する補助金をいただいている。いろいろな会合を、地域の方たちと一緒にして、市に対してさまざまな要望事項を投げつけている。あまり歓迎されない面があると思っている。地元の企業の繁栄のためにということでお許しいただきたい。

■渡辺委員 明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会から来ている。私は明知鉄道で仕事をしている。いろいろな意見を述べていきたいが、一つは、ここにいる人はかなり高齢の人があり私も今年 63 歳だ。昨今発生している自動車の運転免許の関係を含め、今後の移動をどうしていったらいいか真剣に考えていきたい。デマンドや自主運行があるが、これが地域住民にどう役立っているか研究しながら、皆さんの移動を手助けしたい。

■渡曾委員 恵那市観光協会の渡曾です。恵那市の現状で一番大きな問題は人口減少だ。これを多少なり増加させるとか減少を少なくするのが今日の問題だそうだが、日本の人口減少は日本全体のことであり、大きな流れの中で恵那市だけが人口を増やしていくのは非常に困難だと私は考えている。

観光協会から話をすると、現在世界で一番大きな産業は観光産業だ。私は 5、6 年前までは自動車、IT、鉄鋼などが世界の一番大きな産業だと思っていた。特にアジアは中国、東南アジアで富裕層が増えてきて、そういう人が、人口の多いところから世界中に観光に行くようになったことから、観光事業が世界最大の産業になった。恵那市は恵那峡、岩村町などたくさんの観光資源があるので、こういうところを活性化して、観光に来る人を増やし、人口が減少すると恵那市の税金を払う人が少なくなるので財政が困難になるので、そういうを補てんするために、観光客にお金を落とさせていただき、それを人口減少対策とすれば、恵那市は必ず自治体として自立できると思う。岩村町、恵那市全体の観光資源をもっと活性化してたくさんの観光客に来ていただく方策をとっていただければ立派になると思う。そういうことで発言したい。

■副会長 丸山です。自治区の代表として来ている。自治区は 13 町の代表で、この会議があっちゃんどいいと思うのは、6 月から市長と語る会が各自治会である。今度は住民と市長が語って、地域の活性化、安心安全などを反映して行けるということが今度の課題だと聞いている。東野としては、少子化などいろいろなことについて、時間は 1 時間ぐらいだと思うが、市長と語り、それを反映してこの会議に持ってこようと思う。また、自治区もそんなことを各代表者にお願いして各地区でまとめていただいたものを、地区の会長で発表してもらって市に反映したいと思っているので、各地区の意見、また自分のところの意見も述べたいと思う。

■会長 服部です。昨年から恵那市政の計画づくりにかかわり改めて市内をいくつか回らせていただいている。非常に自然と歴史に恵まれたすばらしい地域だと改めて再認識している。一方で、自然と歴史の資源がまだまだ十分に活用されていない、伸び代がかなりある地域だと思う。今回の計画づくりで、さらにその資源の活用がより進むような施策が充実していくことになればと思う。その一助になればと思う。私の立場からも有意義な御意見を申し上げていきたい。

一通り自己紹介かたがたお話をいただいた。今後部会に分かれて議論を重ねた上でまた

この審議会に戻り議論を進める形になる。よろしくお願いします。

(4) 会議の公開及び公表

■会長 改めて、会議の公開、公表について事務局から説明がある。

■事務局 本日の会議は冒頭で公表とさせていただいたが、次回以降の会議の開催に先立ち、公開、非公開を事前公表することになっている。資料3の12ページ、第4条に、会議の公開または非公開の決定は前条の基準に基づき附属機関等の長が会議に諮って行うと規定されている。次回以降の公開、非公開の取り扱いについて決定していただきたい。

■会長 事務局から案を説明してください。

■事務局 要綱に基づき、会議は原則公開とし、個人情報などを取り扱うなど、運用に支障が生じそうな案件を取り扱う場合は、事務局と会長とで相談し、公開非公開を決定したい。

■会長 ただいまの事務局の案について御異議ございますか。

[「異議なし」の声あり]

■会長 お認めいただいたので、事務局案のとおりとする。

■事務局 ありがとうございます。

■会長 本日の議事はすべて終了したので、進行を事務局に返す。

9 その他

■事務局（進行） 長時間熱心な議論をありがとうございました。次回は12月6日金曜日の開催を予定する。審議会委員は引き続き部会を開催するので、休憩をはさんで4時35分からこの会場で始める。

10 閉会

■事務局（進行） この会の締めを丸山副会長にお願いする。

■副会長 皆さんから意見を述べていただきありがとうございます。部会で発言していただき審議したい。これで終了する。

[閉 会]